

1. 概 要

1. 沿革

けいこう やまとたけるのみこと やまと えみし
第12代景行天皇の時代、その子である日本武尊が東国の大和夷征伐を行ったときにこの地を通りました。その際、うっそうたる森林が果てしなく広がっているのを見て感心し、「森なる哉」と口にしました。これを漢訳し、かな
音読すると「森哉」となったため、守谷の地名の由来となったという説があります。

もうや
その一方で、平将門がこの地に城を築いた際、「丘高く谷深くして守るに易き地」ということから、守るに易き谷、転じて「守谷」となったという説もあります。しかしながら、このことについて、はつきりしたことは判明していません。

どちらの説からも、当時の守谷は森がうっそうと茂り、その両側には入江が深く入り込んで、早くから人々が集まつた所であったことがうかがわれます。

ときやましろのかみさだまさ
近世の守谷市の基礎は、土岐山城守定政によって築かれました。1590(天正18)年、定政は、豊臣秀吉の北条氏征伐により、北条氏と運命を共にして没落した相馬氏の遺領に、守谷1万石の領主として封ぜられました。初代守谷城主として入城した定政は、遺領の復旧をはかり、城下町としての町づくりに努めたため、守谷は周辺の村落とは異なる環境を持ち、それが「町」を形成する基盤となったのです。

さか いただつか
1681(天和元)年、最後の城主酒井忠拳が江戸幕府によって転封になるまでの91年間、守谷は城下町として繁栄しました。しかし、現在の千葉県野田市に存在した関宿久世藩の領地となり、城下町でなくなってからは衰退の一途を辿り、周辺の農村と変わらぬ環境となりました。

時を隔てて1868(明治元)年、王政復古による明治新政府の発足後、守谷は下総・葛飾県の管轄下となります。そして1871(明治4)年、廢藩置県施行後、印旛・千葉県となり、1875(明治8)年、茨城県の管轄下に編入されたのです。

さらに、1889(明治22)年の町村制施行を受けて、現在の守谷市を構成する、旧守谷町・旧高野村・旧大野村・旧大井沢村の1町3カ村が発足。経済・文化面では、1913(大正2)年11月1日に開通した常総鉄道が、水運に変わり運輸交通の柱となり、飛躍的な発展をもたらします。

1955(昭和30)年3月1日、1町3カ村が合併し、守谷市の前身となる守谷町(人口12,095人：昭和30年10月1日現在)が誕生。1965(昭和41)年、首都圏近郊整備地帯の指定を受け、住宅公団や民間による大型宅地開発が計画されます。

昭和50年代には、常磐自動車道が開通、都心直結の道路網や都市基盤整備が進み、昭和60年代に入ると、工業団地を含めた新たな区画整理事業が着手され、都市化が急速に進展しました。この頃より計画されたつくばエクスプレスは2005(平成17)年8月24日に開通し、守谷の更なる発展に拍車をかけました。

新しいまちづくりに伴い、人口も急速に増加しています。1985(昭和60)年には、23,857人でしたが、2000(平成12)年の国勢調査では、50,362人に増え、2002(平成14)年2月2日、市制施行により守谷市となりました。また、2008(平成20)年東洋経済新報社の住みよさランキングでは、全国1位に選ばれています。

その後も、守谷市は人口増加を続けており、その勢いは2015(平成27)年国勢調査で全国8位の増加率を記録するほどです。

今後も、発展が見込まれる守谷市の新しい歴史を、市民の皆さんとともに築いていきます。

2. 位置及び地勢

総面積	35.71km ²	市役所の位置	所在地	茨城県守谷市大柏950番地の1
広がり	東西 7.5km 南北 7.2km		経緯度	東経 139度58分42秒 北緯 35度56分52秒
海拔	20m(平均)		海拔	22.20m



守谷市は、茨城県の南西端、東経139度58分42秒、北緯35度56分52秒に位置し、東京都心から40km圏内にあります。

東は取手市、西は常総市、北はつくばみらい市に隣接し、南は利根川を挟んで千葉県野田市、柏市と相対した東西7.5km、南北7.2km、面積35.71km²の市です。

地勢は、茨城県南部から千葉県北部にわたる大きな洪積台地「常総台地」から枝状に伸びる猿島台地の先端部分に位置します。

利根川東遷工事及び鬼怒川開削工事により、3方向を利根川・鬼怒川・小貝川に囲まれた島状の地形となっています。

3. 守谷市のあゆみ

1955年(昭和30年)

- 3月 ・町村合併により新しい守谷町誕生
(守谷町・高野村・大野村・大井沢村)
- 4月 ・第1回町長選挙 吉田亀次郎氏就任
- 10月 ・第8回国勢調査 人口12,095人

1966年(昭和41年)

- 3月 ・合併10周年記念式典挙行
- 4月 ・町章制定
- 12月 ・第二町営住宅建設

1967年(昭和42年)

- 3月 ・大井沢小学校校舎完成

1968年(昭和43年)

- 2月 ・第4回町議会議員選挙(議員定数22人)
- 3月 ・守谷沼圃場整備事業完成
- 4月 ・第三町営住宅建設
- 11月 ・ダイヤル式電話開通

1969年(昭和44年)

- 3月 ・町立学校給食共同調理場完成

1970年(昭和45年)

- 7月 ・市街化区域線引き実施
- 10月 ・第11回国勢調査 人口12,300人

1971年(昭和46年)

- 1月 ・北守谷団地計画決定
- 4月 ・守谷町社会福祉協議会設立
- 5月 ・拠出制年金支給開始
・第四町営住宅建設

1972年(昭和47年)

- 1月 ・児童福祉手当支給開始
- 2月 ・第5回町議会議員選挙
- 3月 ・常総地方広域市町村圏事務組合設立
- 4月 ・野木崎保育所開所
- 6月 ・常磐自動車道(守谷町)の路線発表
- 12月 ・簡易水道事業による給水開始(守谷地区)
・第6回町長選挙 会田源一郎氏再任

1973年(昭和48年)

- 2月 ・南守谷団地計画決定
- 3月 ・守谷町社会福祉協議会法人化認可
- 6月 ・都市計画法による用途地域指定

1974年(昭和49年)

- 8月 ・都市計画道路計画決定
- 10月 ・常総環境センター操業開始
- 12月 ・町の木(松)、町の花(山百合)、町の鳥
(小綏鷦)を制定

- 4月 ・児童手当制度から子ども手当制度へ移行
- ・空き家等活用コミュニティ推進事業
(コミュニティサロン事業)開設
- ・新大利根有料道路の通行料無料化
- ・市税のクレジットカード納付開始
- ・稻戸井調整池堤防にサイクリング道路整備
- ・市役所が工通勤優良事業所に認証
- 6月 ・守谷市病後児保育事業「すこやかルーム」開設
- 10月 ・第19回国勢調査 人口62,482人

2011年(平成23年)

- 1月 ・市内公共施設に赤ちゃんの駅開設
- ・常総広域消防に高度救助隊発足
- 3月 ・東日本大震災発生(11日)市災害対策本部設置、支援物資を県内被災地へ輸送
- 7月 ・アナログ放送終了
・地上デジタル放送へ完全移行(24日)
- 12月 ・ねんきんネットサービス開始
・放射性物質汚染対処特措法により汚染状況重点調査地域指定を受ける

2012年(平成24年)

- 2月 ・守谷市市制施行10周年(2日)
- ・守谷市議会議員一般選挙
- ・市内放射線量測定開始
- 3月 ・第二次守谷市総合計画策定
・放射線量計測器モニタリングポスト設置
- 4月 ・市内4公民館(中央、郷州、高野、北守谷)に指定管理者制度導入
・市制施行10周年記念式典、モニュメント時計塔披露式
・守谷市除染実施計画を策定
・常総地方地域交流センター「いこいの郷常総」オープン
- 7月 ・常総環境センター竣工(第三次)
- 8月 ・守谷小学校新校舎完成
- 10月 ・もりや市民大学開校
- 11月 ・第3回守谷市長選挙 会田真一氏再任
・リブコム住みよいまちづくり国際賞 銀賞受賞

2013年(平成25年)

- 2月 ・守谷市公式サイトリニューアル
- 3月 ・守谷市放射能対策 住宅地の除染開始
・生活道路の安全確保「ゾーン30」開始
・郷州沼崎線全線開通
- 4月 ・すこやか医療費支給制度中学生まで拡大
・守谷市食育推進計画策定
- 5月 ・モバースルート・ダイヤ改正(Cルート新設)
・守谷市人権施策推進基本計画策定
- 6月 ・アメリカ合衆国コロラド州グリーリー市との姉妹都市締結20周年記念式典
- 8月 ・社会福祉施設(3ヶ所)と福祉避難所に関する協定締結
・見守り活動等に関する協定締結
- 10月 ・守谷市原東土地区画整理事業の換地処分により松並地区の一部の町名が「ひがし野四丁目」に変更
- 11月 ・「開智望小学校」の設置計画承認

2014年(平成26年)

- 1月 ・松並土地区画整理事業「ビスタシティ守谷」入居開始
- 3月 ・平成25年住宅・土地統計調査のオンライン調査推進に係る総務大臣表彰受賞
- 6月 ・シティープロモーション、市公式SNS開始
(Twitter、Facebook)
- 8月 ・守谷市低炭素まちづくり計画策定
- 10月 ・防犯カメラ設置(60基)

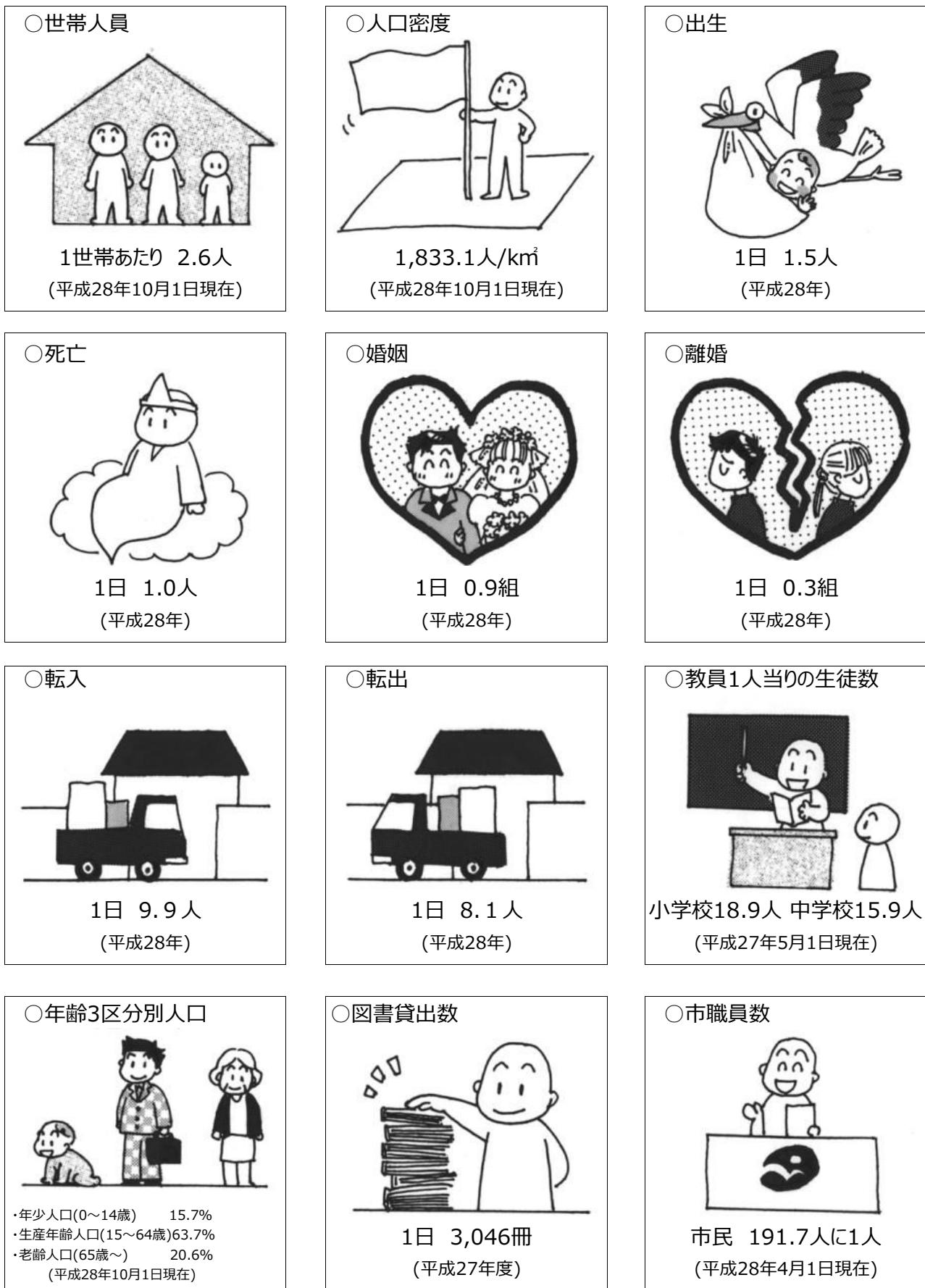
2015年(平成27年)

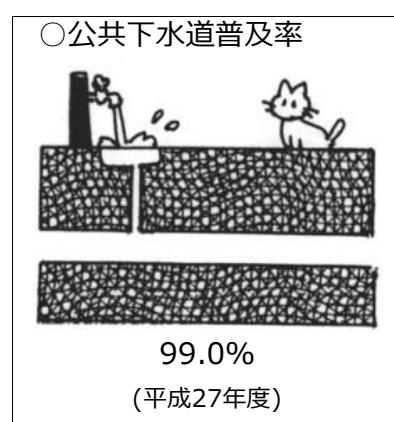
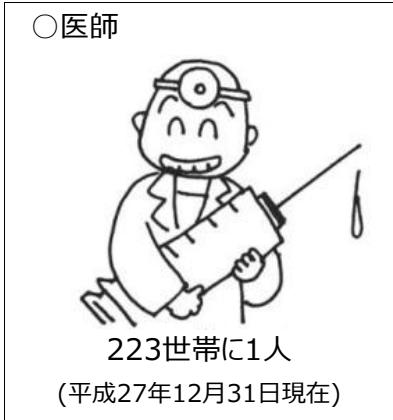
- 4月 ・守谷市動物の愛護及び管理に関する条例施行
- 8月 ・超高密度気象観測システム「POTEKA」設置(8ヶ所)
- 10月 ・第20回国勢調査 人口64,753人
・守谷駅前親子ふれあいルーム開設
・守谷浄化センター消化ガス発電事業開始
- 11月 ・ドイツ・マインブルク市との姉妹都市締結25周年記念式典
- 12月 ・守谷市犬猫里親登録制度開始

2016年(平成28年)

- 1月 ・マイナンバーの運用開始
- 4月 ・平成27年国勢調査のオンライン調査推進に係る総務大臣表彰受賞
- 11月 ・第4回守谷市長選挙 松丸修久氏就任

4. 市民の暮らし





【資料】心のふるさと(守谷市イメージソング)・ふるさと守谷音頭

明治22年4月1日に旧守谷町が誕生して平成元年で100年。

町制百周年を記念して作られた2曲をご紹介します。

心のふるさと(守谷市イメージソング)

「心のふるさと」は公募による市民の倉田憲夫さんの詞を、「青葉城恋唄」で有名なさとう宗幸さんに作曲をお願いしたものです。

作詞／倉田憲夫 作曲／さとう宗幸
編曲／佐々木ひろし 歌／さとう宗幸

1. さりげない 君の笑顔が
この街の 朝のはじまり
今日を信じ 生きる事って
すばらしい 事なのさ
この街は 僕の ふるさと
この街は 心の ふるさと
しあわせの 数だけ 夢が
かがやく 街なのさ

2. なにげない 君の言葉が
僕達の 旅のはじまり
若さを信じ 生きる事って
すばらしい 事なのさ
この街は 君の ふるさと
この街は 二人の ふるさと
よろこびの 数だけ 若さ
きらめく 街なのさ

3. あてのない 旅に出てまた
新しい 明日(あす)のはじまり
未来を信じ 生きる事って
すばらしい 事なのさ
この街は 若い ふるさと
この街は みんなの ふるさと
人生の 数だけ 愛が
あふれる 街なのさ

ふるさと守谷音頭

「ふるさと守谷音頭」は、「日本全国酒飲み音頭」で有名なバラクーダのひとり、守谷市出身のベートーベン鈴木さんの作品です。

作詞作曲／ベートーベン鈴木 編曲／西崎 進
歌／ベートーベン鈴木・松原なお美

1. 水と緑に 囲まれた
ここは日本の ニュータウン
利根川 鬼怒川 小貝川
それを見守る 筑波山
越えてきました 一世紀
私の守谷 ふるさと守谷

2. 常磐道路を 左に降りや
山百合薫る この大地
守谷(まち)を創(つく)った おじいちゃん
それを支(ささ)えた おばあちゃん
お蔭様です 一世紀
幸せ守谷 ふるさと守谷

3.唄がはずめば 踊りもはずむ
みんな輪になり お手拍子
いかに時代が 変ろとも
人の愛(こころ)は いつまでも
ともに築いた 一世紀
有難う守谷 ふるさと守谷

4. 松の並木に 朝日が昇りや
夢と希望の 未来都市
昔、将門(まさかど) 見た夢も
昨日僕らが 見た夢も
明日に向かって 一世紀
世界の守谷 ふるさと守谷